

## 抗 EID 1 抗体、モノクローン(#26)

71-185 50 µg

EID1 (EP300 interacting inhibitor of differentiation) は 21 kDa のタンパク質で、RB1 及び EP300 タンパク質と結合して MYOD1 遺伝子の転写のレプレッサーとして機能する。EID1 は EP300/CBP のヒストンアセチルトランスフェラーゼ活性を阻害する。EID1 は細胞周期の進行の終了と細胞分化に必要な遺伝子の転写制御をカップルさせる機能に関与していると考えられている。

マウスハイブリドーマ (クローン #26) を無血清培地で培養し、弊社独自の方法でマイルドな条件で IgG を精製した。

### 用途:

1. ウェスタンブロッティング (~1 µg/ml)
  2. ELISA
- 他の用途はテストされていない。

### 製品の性質

**抗原:** ヒト DIE1 タンパク質のアミノ酸 159~187 を含む合成ペプチド

**反応性:** ヒト、マウス、ラットの EID1 タンパク質

**Isotype:** マウス IgG2a (κ)

**性状:** 精製モノクローン抗体 (IgG) 1 mg/ml in PBS (pH 7.4), 50% glycerol, ろ過滅菌済

**保存:** -20°C (長期 -70°C)

**データリンク** UniProtKB/Swiss-Prot [Q9Y6B2](#) (EID1\_HUMAN)

### 文献:

1. MacLellan WR *et al* "A novel Rb- and p300-binding protein inhibits transactivation by MyoD." *Mol Cell Biol* **20**:8903-8915 (2000) PMID: [11073990](#)
2. Nguyen DX *et al* "Acetylation regulates the differentiation-specific functions of the retinoblastoma protein." *EMBO J* **23**: 1609-1618 (2004) PMID: [15044952](#)

### 図 細胞粗抽出液中のEID1タンパク質のモノクローン

抗体#26 を用いたウェスタンブロッティング法による

による同定。乳癌細胞MCF7細胞にベクターpCMV1

(レーン1) またはEID1発現ベクターpcDNA3/EID1

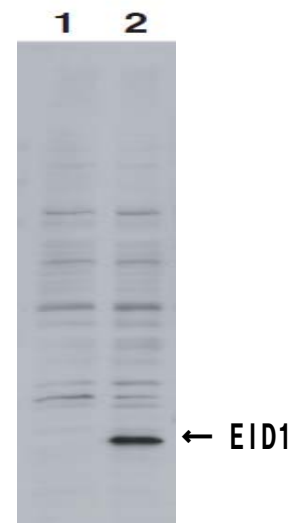
(レーン2) をトランスフェクションして培養し、それら

の細胞粗抽出液をモノクローン抗体#26を一次抗体とし、

HRP結合抗マウスIgGを二次抗体として用いて、ウェスタン

ブロッティングを行った。21 kDaのタンパク質の位置

(矢印) にEID1タンパク質を検出できる。



**関連製品** # [71-190](#) 抗EID1 抗体、モノクローン(#2)